

令和7年度 第1回駒ヶ根市総合教育会議

令和7年7月31日(木)
駒ヶ根市役所 保健センター2階 大会議室

1 あいさつ
市長

教育長

2 協議事項
(1) 令和7年度事業の推進について

3 意見交換
(1) 休日部活動の地域展開について

(2) 地域資源の活用について

(3) 生涯学習としてのスポーツ・文化活動の場をどう守っていくのか

(4) 市長より

4 その他

令和7年度教育委員会主要事業の取り組み方針について

駒ヶ根市では、第5次総合計画及び教育大綱に基づき、「子どもたちが夢と希望にあふれるまちづくり（子育て・教育環境の充実）」、「ともに学び、文化を育むまちづくり（生涯学習・文化・スポーツ振興）」を基本目標に掲げ取り組んでいます。

令和7年度では、「妊娠期から子育て期の切れ目ない支援」、「家庭・地域の子育て力の向上」、「幼児期の健全育成の推進」、「学校教育の充実」、「学校・家庭・地域社会との連携強化による教育力向上」、「生涯学習活動の推進」、「文化財の保存と活用」、「文化芸術活動の推進」、「市民スポーツの推進」を柱に事業を実施します。

さらに、昨年度まで企画振興課と子ども課において実施していた子育て支援業務を一元的に司る「子育て支援係」を設置し、また多様化する相談業務の充実を図り相談業務を集中的に司る「こども相談係」を設置し、子育て支援に係る業務を教育委員会が担っていくこととなりました。

事業の柱となる各項目については、次ページ以降の「主要事業メニュー版」の中で詳細を記載しております。

アルプスに響く こまがね5つのみちしるべ

- 1の柱・・・生まれでた 一つの命 社会の宝 地域みんなで育てよう
- 2の柱・・・心を込めてあいさつすれば 広がる人の輪 深まる絆
- 3の柱・・・早寝 早起き 朝ごはん 生活リズム 整えよう
- 4の柱・・・家事・育児 家族みんなで助け合い
- 5の柱・・・ゲームやスマホは時間を決めて 自然とふれあう群れ遊び



【総合戦略Ⅲ-(1)-② 妊娠期から子育て期の切れ目のない支援】
【総合戦略Ⅲ-(2)-① 子育ての負担軽減への取組】

1 妊娠期から子育て期の切れ目のない支援

R7.2
子ども課

めざす姿

子どもを望む全ての人が安全安心な妊娠・出産・楽しい子育てができ、子どもたちが健やかに成長発達している。

	推移(R6見込み)						目標	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
安心して子育てできる支援が整っている	3.25p	-	3.28p	-	3.22p	-	-	3.50p
この地域で今後も子育てをしていきたい人の割合	93.6	94.1	96.3	96.4	97.8	97.9	97.9	96.0
乳幼児健診の受診率	97.4	95.0	97.8	97.9	98.6	98.7	98.8	99.0

7年度の
ポイント

- ①妊産婦の健康への支援の充実
- ②乳幼児の健やかな成長発達を促す支援
- ③発達特性をもつ子どもの早期発見・早期療育を推進

① 妊産婦期の健康支援

■ 妊婦一般健康診査支援事業

継続

【予算額 21,844千円】

妊婦の健康管理の充実と経済的負担の軽減を図るため、妊婦一般健康診査、妊婦歯科健診の補助を行います。
・妊婦健診受診票の発行 1人当たり14回分 127,740円

■ 低所得の妊婦に対する初回産科受診料支援事業

継続

【予算額 20千円】

低所得の妊婦への妊娠判定にかかる産科受診費用補助を行います。 1人上限10,000円

■ 妊婦の健康保持の支援・不安の軽減

・母子健康手帳の交付

面談を通じて妊婦の生活状況を把握しながら、健康診査受診の勧奨、体づくりのための生活習慣等保健指導を行います。支援の必要者には支援計画を作成し、医療機関等と連携を図りながら継続した支援を行います。

母子健康手帳の交付人数
(R6見込み)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
人数	217	213	185	174	174

・母親学級・パパママ教室・妊娠8か月教室

妊娠から出産・子育てまでの母子の心身の成長の理解を深め、妊娠中の身体管理方法、不安の軽減、親となる心構えと育児の実践について伝え、円滑な育児開始を図ります。

■ 産後ケア事業

拡充

【予算額 1,085千円】

医療機関や助産所に宿泊・滞在し、産後の身心のケア、育児不安等の軽減、育児手技の獲得等を図るための保健指導を受ける費用の一部を助成します。令和7年度から、訪問による産後ケアも助成の対象とします。

年度	R2	R3	R4	R5	R6
利用延日数	12	7	13	5	25

(R6見込み)

■ 産婦健康診査支援事業

継続

【予算額 1,800千円】

産後間もないお母さんのこころと身体の健康と産後うつ病の予防/早期発見等のため、産婦健康診査の費用の一部を助成します。 1人上限5,000円/回×2回

■ ほほえみ支援事業（不妊治療費助成金）

継続

【予算額 2,500千円】

不妊に悩む夫婦の精神的、経済的負担を軽減するため、不妊治療に要する費用の一部を助成します。
(令和4年度から、不妊治療は保険適用、市助成額の上限を10万円から20万円に引き上げ)

年度	R2	R3	R4	R5	R6
申請件数(件)	46	36	23	18	20
助成額(千円)	3,305	2,731	2,426	1,226	1,400

(R6見込み)

② 乳幼児の健やかな発達の促し

■ 新生児聴覚検査助成（委託料・補助金）

継続

【予算額 950千円】

すべての新生児が検査を受けられるよう、新生児聴覚検査にかかる経済的負担の軽減のため、検査費用の補助を行います。1人1回上限5,000円

■ 1か月児健康診査支援事業

【予算額 1,148千円】

1ヶ月児健診の負担の軽減を図るため、受診券方式による公費負担を行います。

■ 乳幼児健康診査、育児相談

乳幼児期の成長発達を確認し、疾病等の早期発見、子育てに関する不安や悩みの軽減を図ります。

・健康診査：3ヶ月、9ヶ月、1歳6ヶ月、3歳

・育児相談：6ヶ月、12ヶ月、2歳3ヶ月

（法定健診）1歳6ヶ月児健診 （R6見込み）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
対象児数(人)	210	209	194	202	175
受診者数(人)	201	202	191	201	174
受診率(%)	95.7	96.7	98.5	99.5	99.5

（法定健診）3歳児健診 （R6見込み）

年度	R2	R3	R4	R5	R6
対象児数(人)	250	227	237	195	194
受診者数(人)	236	222	228	181	184
受診率(%)	94.4	97.8	96.2	92.8	95.0

■ 子どもを健やかに育てる環境づくり

市保健師や助産師、市内産科医療機関または助産所の助産師が全出生児対象に新生児訪問を行います。また、助産師・栄養士等の専門職が子育て支援センターに出向き、気軽に相談できる環境づくりに努めます。

■ 未熟児養育医療給付事業

【予算額 1,300千円】

出生後、指定医療機関へ入院し、養育を行う必要のある乳児に対して、医療の給付を行います。

■ 安全な予防接種の推進

継続

【予算額 64,645千円】

疾病の発生及びまん延を予防し、子どもの健やかな成長支援を図ります。また、より安全で接種しやすい環境づくりのため、全ての予防接種を個別接種により実施します。

【定期予防接種】 4種混合、5種混合、2種混合、BCG、水痘、麻疹風しん、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、B型肝炎、ロタ、HPV

【任意予防接種】 インフルエンザの感染リスクを下げ、安心して受験に臨めるよう、中学3年生のお子さんのインフルエンザ予防接種費用の一部を補助します。

③ 発達特性をもつ子どもの早期発見・早期療育の推進

■ 児童発達支援事業

継続

【予算額 38,740千円】

発達障がい等心身に何らかの障がいあるいは発達特性を有し、訓練を必要とする児童に対して、日常生活の自立及び集団生活適応力、社会力をつけるための個別、集団の療育訓練を行います。

【児童発達支援施設つくし園 利用延人数】 （R6見込み）

年 度	R2	R3	R4	R5	R6
児童発達支援(乳幼児、園児)	1,987	2,259	2,512	2,196	2,160
放課後等デイ(学童)	329	285	382	455	470
保育所等訪問支援	10	21	65	56	60
タイムケア(障がい児の一時預かり)	61	93	10	1	5

2 家庭・地域の子育て力の向上

- めざす姿**
- 様々なニーズに対応した子育てが安心して行える環境が確保され、気軽に相談できる体制や地域も含めた子育て全般に渡るサービスが整っている。
 - 児童虐待もなく、不登校などにもつながらない健全な家庭生活が保たれている。

	推 移						目 標	
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
安心して子育てできる支援が整っている(ポイント)	3.25	-	3.28	-	3.22	-	3.40	3.50
この地域で今後も子育てをしていきたい人の割合(%)	93.6	94.1	96.3	96.4	97.8	93.2	95.0	96.0

7年度の
ポイント

気軽に子育て支援サービスが受けられる環境を整備し、子育て家庭の心身及び経済的な負担軽減に努めるとともに、子どもに関する相談体制を充実します。さらに、関係機関等と連携し、ヤングケアラーの把握や不登校児童生徒などに対する取組を推進します。

① 子ども交流センター・子どもクラブの運営 **継続**

共働き家庭等の児童が、放課後の安全に利用できる居場所を提供する。

◆児童厚生員等の報酬、施設維持、LED化工事等【予算額 43,737千円】

◆子ども交流センター利用状況(4館※の平日1日平均利用人数)

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (見込み)
人数	174.1	127.9	144.5	136.9	148.6	150.1

※すずらん・三和森・赤穂東・みなみ子ども交流センター



◆子どもクラブ利用状況(2館※の平日1日平均利用人数)

年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6 (見込み)
人数	32.4	20.2	26.4	23.1	33.2	36.8

※中沢・東伊那子どもクラブ



② 子育て家庭の支援事業

拡充

◆ファミリーサポートセンター事業(託児支援)【予算額 3,133千円】

◆ショートステイ事業(短期宿泊預り支援)【予算額 591千円】

◆ハッピーママサポート事業(家事援助支援)【予算額 300千円】

第2期子育て全力応援！継続事業

拡充

◆ファミリーサポート事業利用助成【予算額 2,188千円】

・ファミリーサポートセンター助成事業(会員双方助成)

・ショートステイ初回無料事業

・ハッピーママサポート初回無料事業



<預りサポーター養成講座より>

③ いい育児の日関連イベント開催事業 **拡充**

◆フリーマーケットや親子で参加できる体験コーナー等【予算額 900千円】

◆公園に飛び出そう！(こどもの公園写真募集と展示)



「5月：青空すくすくマーケット」



「11月：青空すくすく広場」



「1月：しゃぼん玉&バルーンショー」

④ 子どもに対する相談・支援体制の充実

継続

◆家庭児童相談員による相談業務

【予算額 7,405千円】

【家庭児童相談延べ件数】

内容	年度				
	R1	R2	R3	R4	R5
養 護	797	639	501	404	767
育 成	92	161	116	37	75
その他	57	59	31	56	179
合 計	946	859	648	497	1,021

●性格や行動、心身の発達・障がい、家庭環境、虐待などの子どもに関する相談を受け付けます。
必要な場合は、児童相談所等関係機関へつなぎます。(児童虐待は、養護相談の中に含まれます。)

◆教育相談員による相談業務

【予算額 6,709千円】

【教育相談延べ件数】

内容	年度				
	R1	R2	R3	R4	R5
不登校	71	150	103	85	51
発達障害	114	95	98	85	39
就学指導	186	177	205	210	231
その他	165	104	150	122	179
合 計	536	526	556	502	500

●いじめや不登校、就学に関する悩みなど教育に関する相談を受け付けます。

◆地域おこし協力隊員の任用

新規

「家庭児童相談員」として地域おこし協力隊員を任用し、相談・支援体制を強化するとともに、児童福祉施設や市内の子育て支援サークル等と連携して新たな子育て支援事業の提案・実施を行う。

将来的に市内での児童福祉に関する事業の起業等を目標としている。 【予算額 5,200千円】

⑤ 発達障がい児に対する相談業務・療育支援

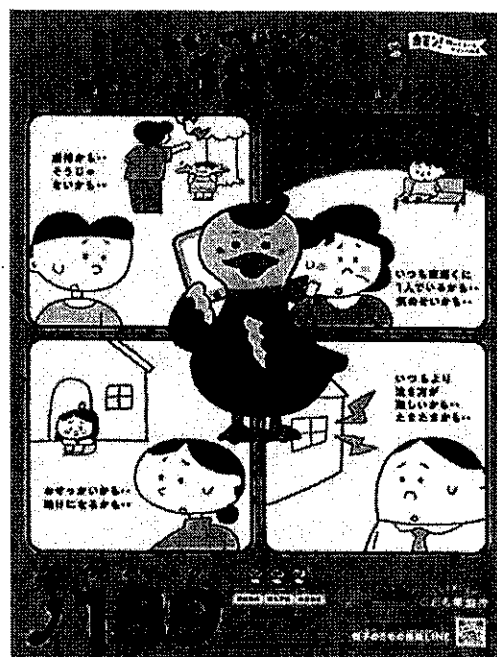
◆公認心理師による相談業務等

【予算額 6,650千円】

【カウンセリング等延べ件数】

内容	年度				
	R1	R2	R3	R4	R5
巡回相談	439	167	168	180	138
健診相談	11	12	30	14	25
その他	195	187	206	150	157
合 計	645	366	404	344	320

●公認心理師による保育園・幼稚園の巡回相談や個別相談・発達検査などを実施することで、療育を



●児童相談所に通告・相談ができる全国共通の電話番号になります。

●「189」にかけるとお近くの児童相談所につながります。

● 通告・相談は匿名で行うこともでき、通告・相談をした人、その内容に関する秘密は守られます。

※通話料はかかりません。

3 幼児期の健全育成の推進R7.2
子ども課**めざす姿**

- 子どもたちが体を使った遊びを行い、年齢にふさわしい体力・運動能力を身につけている。
- 地域の特性を生かした保育がなされ、子どもたちが自然に親しみ、想像力や豊かな感性を身につけている。

**7年度の
ポイント**

- ① 子どもの体力向上を推進します。
- ② 地域に根ざした特色ある取組を進めます。

① 子どもの体力向上の推進**継続**

○保育園・幼稚園における運動遊びの推進

子どもたちの体力や運動能力を高めるため、日常の保育の中に運動あそびを取り入れるとともに、親子で体を動かすことを楽しむ機会を提供し、保育の質の向上を目指します。

○幼児運動能力評価

引き続き、幼児運動能力評価を実施し、駒ヶ根市の子どもたちの運動能力の現状を把握することで、運動能力向上に向けた保育の取組に生かします。

② 地域に根ざした特色ある取組**継続**

公立・私立保育園幼稚園の入所状況と今後の予想(各年4月1日現在・R07は予定)

(単位:人)

	R03	R04	R05	R06	R07
公立保育園(8園)	624	618	573	523	543
公立幼稚園(2園)	72	53	64	51	41
私立保育園(2園)	182	169	163	161	166
私立幼稚園(1園)	64	56	51	42	37
私立小規模保育施設(1園)				12	17
合 計	942	896	851	789	804

○未満児保育料の軽減

拡充

- ・市町村民税所得割額が57,700円未満の世帯は、第1子は半額、第2子以降を無償化します。
- ・市町村民税所得割額が57,700円以上の世帯は、第2子は半額、第3子以降を無償化します。

○幼児教育無償化の実施

拡充

- ・3歳以上児および3歳未満児のうち住民税非課税世帯の子どもについて保育料を無償化します。
- ・3歳以上児の副食費について市で1,800円負担するとともに、市町村民税所得割額が57,700円未満の世帯、または第3子以降の副食費を無償化します。

○公立保育園・幼稚園の運営

拡充

【予算額 362,881千円】

- ・保育士の確保対策・環境改善

【うち予算額 24,779千円】

派遣保育士の活用 2名

長野県保育士移住支援事業の活用 県1/2

保育補助員の配置 加配補助7名、延長保育補助3名

○保育・幼児教育ビジョンに基づく施設整備

新規

【予算額22,779千円】

- ・新園舎基本設計・実施設計、赤穂南幼稚園解体工事実施設計

- 私立保育所・幼稚園運営費
・ 公定価格に基づく給付費等 国1/2 県1/4

継続 【予算額258,169千円】

- 私立保育所・幼稚園特別保育事業補助金

拡充 【予算額31,397千円】

(単位：千円)

	福岡保育園	桜ヶ丘保育園	聖マルティン幼稚園	J's保育園駒ヶ根	備考
延長保育事業	4,000	4,000	-	2,000	国県補助2/3
一時保育促進事業	1,200	-	11,340	-	国県補助2/3
乳児保育	510	510	-	-	県補助1/2
加配支援事業	2,388	2,388	-	2,388	県補助1/2
その他特別保育事業	452	221	-	-	
合計	8,550	7,119	11,340	4,388	

- 未就園児童の子育て支援等

継続 【予算額60,526千円】

- ・ 利用者数の推移 (R06は見込み 年間延利用者数：子供の人数)

年度	R01	R02	R03	R04	R05	R06
きっずらんど	3,710	1,334	1,351	2,002	3,327	3,604
まあるくなあれ♪	6,710	3,488	3,450	2,433	4,139	4,484
一時預かり事業	1,042	805	540	591	814	981

- ・ きっずらんど、まあるくなあれ♪事業

駅前アルパ「きっずらんど」、経塚支援センター「まあるくなあれ♪」を設置し未就園児親子の交流支援を図ります。

きっずらんどの土曜日開館を継続します。

- ・ 地域子育て拠点支援事業・乳幼児一時預かり事業

市内医療機関と連携し、未就園児親子の交流支援や、8カ月未満の乳幼児の一時預かりを実施します。

- ・ 世代間交流事業(おじいちゃん先生)

- ・ 病児・病後児保育事業

児童が病気の治療中又は病気の回復期にあり、集団保育等が困難で、かつ保護者の就労等により家庭での保育が困難な際に、市内、飯島町の医療機関併設の病児保育室において児童を一時的に預かり、子育てと就労の両立の支援を図ります。

- ・ 幼児教育アドバイザー配置

「保育・幼児教育ビジョン」を推進するため、幼児教育アドバイザーを配置し、「内から育つひたむきな子」育成に努めます。

4 子どもの食育の推進

R7.2
子ども課

めざす姿

●様々な経験を通じて、食への関心を高め、地域に根差した食に関する知識や健全な成長に必要な食品を選択する力を身につけ、豊かな心を育み、健全な食生活を実践している。

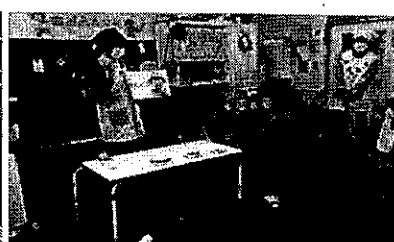
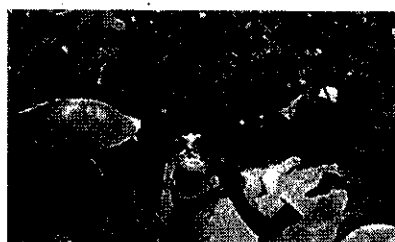
7年度の ポイント

- ① 子ども達が体験しながら楽しく学ぶ食育を推進します。
- ② 家庭での食育を推進します。
- ③ 「お弁当の日」を推進します。

① 体験しながら学ぶ食育の推進 継続

○園児への体験機会の提供

・園での野菜作り、収穫した野菜の調理体験、給食での行事食や郷土食の提供、親子クッキングなど、体験を通じた園児たちの食への関心を高める取り組みを進めます。



○家庭と共にすすめる食育

園児が望ましい食生活習慣や生活リズム、マナーなどを身につけるために、園の給食や給食だより、食育応援団や親子クッキング等で、共食や朝食の大切さなどの啓発を行います。



② 学校食育の推進 継続

【予算額40千円】

- 「お弁当の日」のお弁当作り
- 食育授業・講演会

③ 実態調査

- 食育アンケート（3年に1回実施（次回令和9年度実施））

5 学校教育の充実

R7.2
子ども課

めざす姿

確かな学力や体力、豊かな人間性を持ち、自立して生きていける力を身につけ、地域づくりを担っていける子どもたちが育っている。

指標名	推移					目標		
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	→	R8
標準学力調査の目標値を上回った教科数、全国学力・学習状況調査の全国平均を上回った教科数の割合	86.4%	未実施	59.1%	52.2%	18.2%	31.8%	→	80.0%

7年度の
ポイント

- ① ICT教育の充実とネットワーク環境の整備
- ② 学力向上プログラム・外国語学習指導の充実
- ③ 児童生徒の安全確保の充実
- ④ 中学生海外派遣による国際人の育成

① ICT教育の充実

継続

【予算額 87,786千円】

- 一人一台端末(2,832台)の活用
(小学校1・2年生:iPad、小学校3年生～中学生:Chromebook)
- 学習用ドリルアプリ、大型提示装置・書画カメラ等の活用
- 教員の指導力強化とICTリテラシーの向上(ICT支援員配置・ICT研修の実施)
- ICT教育運用・保守等委託(障害対応、修繕、セキュリティ対策、保守等)

③ 学校ネットワークの環境改善

重点

【予算額 23,960千円】

- 無線アクセスポイント増設
- 校務系・GIGA系高速化

④ 教科指導の強化

継続

【予算額 29,517千円】

- 学力向上対策指導主事の配置(子ども課:1名)
- 専科教員の配置((中学校:5名)国語・英語・理科等の個別教科の充実)
- ALTの配置((4名)小学校外国語活動・中学校英語教育の支援充実)

⑤ 不登校児童・生徒の居場所づくり

継続

【予算額 18,956千円】

- 不登校対策指導主事の配置(子ども課:1名)
- 子どもと親の相談員の配置(小学校:2名)
- 生徒相談員の配置(中学校:3名)
- 中間教室適応指導員の配置(子ども課:1名)

⑥ 学習習慣形成

継続

【予算額 64,541千円】

- 特別支援教育支援員の配置(小学校:23名、中学校:2名)
▶発達特性のある児童・生徒への支援、個別指導の充実、要介助児童・生徒の対応
- 看護師の配置(小学校:2名)
▶病弱児・医療的ケア児への支援

⑦ 標準学力調査・集団適応調査

継続

【予算額 3,459千円】

- 標準学力調査
▶全国学力・学習状況調査と併せ小学校3年から中学校3年まで実施
(小学校:国語・算数、中学1年生:国語・数学・理科・社会、中学2年生:国語・数学・理科・社会・英語、中学3年生:理科・社会・英語)
▶児童・生徒の成長の把握とつまずきの発見・克服、指導法の検討と授業改善
- QU調査
▶小中学校全学年基本的に年2回実施、学級集団の状態や、子ども一人一人の意欲・満足度などを測定
▶学級経営の改善により、いじめ・不登校の防止と学力向上につなげる

⑧ 特色ある学校づくり

継続

【予算額 2,850千円】

- 各学校の教育目標の達成に向けた校長裁量予算
▶学力向上や指導力向上、地域に開かれた学校づくりなど、総合的な学習の時間を中核とした特色ある学校運営を校長のリーダーシップにより推進
▶コミュニティ・スクールの導入促進、活動充実など

⑨ 中学生海外派遣国際交流事業

拡充

【予算額 4,952千円】

- ネパールボカラ市への中学生派遣交流

⑩ 通学カバン贈呈

継続

【予算額 3,890千円】

- 新小学1年生の希望者に通学カバンを贈呈

⑪ 学校給食物価高騰対策事業

拡充

【予算額22,564千円】

- 学校給食食材値上がり分の補助

- 【総合戦略Ⅲ-(1)-② 妊娠期から子育て期の切れ目ない支援】
 【総合戦略Ⅳ-(1)-② 学校・家庭・地域社会との連携強化による教育力向上】
 (政策1-1) 【総合戦略Ⅳ-(1)-③ キャリア教育・ふるさと教育の推進】

6 学校・家庭・地域社会との連携強化による教育力向上

R7.2
子ども課
社会教育課

めざす姿 未来を担う子ども・若者たちが、学校や家庭をはじめ地域社会全体の支援を受けながら、豊かな人間性や社会性を身につけて成長している。

指標名	推移					目標	
	H27	H29	R1	R3	R5	→	R8
家庭・学校・地域が協力して子育てをしている。	3.45p	3.47p	3.50p	3.55p	3.39p	→	3.65p
青少年が心身ともに健康に育つ環境にある。	3.34p	3.37p	3.35p	3.43p	3.35p	→	3.49p

7年度の
ポイント

- ① コミュニティ・スクールの推進(地域とともにある学校づくり)
- ② 学校支援ボランティアの充実
- ③ キャリア教育の推進

① 学校支援ボランティア

継続

【予算額 1,021千円】

- 放課後学習支援
- 授業支援
- 外国語活動支援
- クラブ活動支援
- 本の読み聞かせ支援

② キャリア教育の推進

継続

【予算額 100千円】

- 産学官の連携強化(キャリア教育推進協議会)
- 職場体験学習
- JICAの学校交流事業
- 郷土愛プロジェクト・キャリア教育かみいな交流会

③ コミュニティ・スクールの推進

継続

【予算額1,400千円】

- 市内全小中学校

7年度の
ポイント

青少年育成委員とともに、より良い環境づくりを進めます。

① 青少年健全育成事業

継続

【予算額 1,288千円】

- 地区子ども会活動推進事業補助
 - ・ 市内16区にある子ども会の活動を支援する
 - ・ 地区子ども会活動の交流
- ジュニアリーダー研修
 - ・ ジュニアリーダー・シニアリーダー 約30名
 - ・ 各種研修を実施
 - ・ VYS会に指導を依頼
- 二十歳を祝う会の開催
 - ・ 8月15日開催
 - 対象者 約350名



ジュニアリーダー研修会

② 青少年育成センター事業

継続

【予算額 706千円】

- 青少年育成委員の活動を支援
 - 各区から選出される青少年育成委員34名による青少年育成活動及び補導活動を支援する。
 - ・ 青少年育成委員活動
 - 研修会、交流会への参加
 - 子ども会活動の運営
 - ・ 青少年の補導活動
 - 巡回指導、街頭指導の実施
 - 青少年健全育成協力店推進活動



令和6年度 二十歳を祝う会

1 生涯学習の推進

R7.2
社会教育課

めざす姿

- 誰もが生涯にわたって自由に学ぶことができ、その成果が地域づくりに活かされている。
- 生涯学習施設が、学び・実践・交流していく場所として活用され、望ましい学習態様が構築されている。

	推移							目標
	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R8
生涯学習に取り組みやすい(満足度調査)	3.10p	—	3.04p	—	3.16p	—	3.07p	3.27p
図書館や公民館などの利用環境が整っている(満足度調査)	3.55p	—	3.58p	—	3.71p	—	3.65p	3.84p

7年度の
ポイント

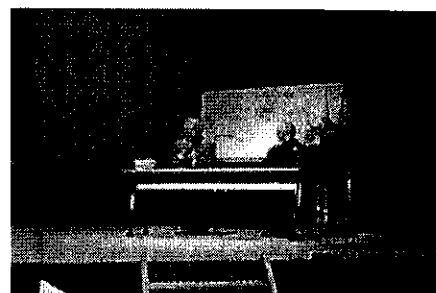
- ① 多様なニーズや新たな生活様式、ライフスタイルに対応できる学習情報や機会の提供方法を検討し、実践していきます。
- ② 生涯学習活動を支援します。

① 社会教育総務管理事業 **継続** 【予算額 3,456千円】

- 学習情報の提供(「生涯学習メニュー版」発行など)
- 人権教育の推進
- 社会教育委員会活動

② 公民館管理運営事業 **継続** 【予算額 40,943千円】

- 3公民館共同事業の実施
ふるさと講座等の開催、公民館報の発行
- 各公民館の管理運営
公民館運営審議会の開催
学級・講座の企画運営による学習活動
分館の活動促進(分館長・主事会の開催)



ふるさと講座

③ ふるさとの丘管理運営事業 **継続** 【予算額 10,194千円】

- 指定管理による維持管理
竹花工業(株)駒ヶ根支店に指定管理を委託し施設の維持管理を行う

④ 十二天の森整備運営事業 **継続** 【予算額 2,659千円】

- 生涯学習の場、保育園・幼稚園の自然体験の場として活用する
整備活用検討委員会の開催
活用イベント等の開催
遊歩道、支障木等の整備
パンフレット作成
森の活用拡充



自然観察会

⑤ 市民農園整備運営事業 **継続** 【予算額 114千円】

- 市民農園の貸出
市民農園 北割23区画、南割16区画、計39区画の貸出し

2 文化財の保存と活用R7.2
社会教育課

めざす姿 変わらないものの価値を後世に引き継ぐため、貴重な文化財の調査研究が進められ、有効利用しながら保全に努めている。

	推移(R6は見込み)						目標
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R8
文化財の指定件数	48件	48件	48件	50件	50件	50件	50件

7年度のポイント ① 文化財の保存を図る
② 文化財の有効活用を図る

① **旧竹村家管理運営事業** **継続・新規** 【予算額 5,762千円】

●指定管理による維持管理

●旧竹村家住宅保存修理工事基本設計委託業務

・令和8.9年実施予定の修理工事に向けた基本設計を行う

② **文化財保存事業** **継続・新規** 【予算額 9,967千円】

●文化財の指定、保存及び活用

・文化財審議会の開催

●指定文化財の保存管理

- ・市所有文化財の保存管理（旧木下家住宅、民俗資料館、赤須城跡、芭蕉の松 等）
- ・ハッチョウトンボ生息地環境整備
- ・文化財保存管理等のための人材（学芸員）配置
- ・県宝小町谷家住宅修理工事補助金（県補助の随伴補助）

名勝光前寺庭園整備活用事業

- ・名勝光前寺庭園整備活用委員会の開催
- ・凄いぞ名勝光前寺講座



③ **埋蔵文化財発掘事業** **継続** 【予算額 147千円】

埋蔵文化財発掘調査委託

- ・埋蔵文化財包蔵地において緊急的に発掘調査が必要となった場合に実施する
その後、事業主より調査費を補填させる
- ・埋蔵文化財包蔵地にかかる保存・保護活動

3 文化芸術活動の推進R7.2
社会教育課**めざす姿**

多くの市民が多様な文化芸術に触れる機会を持ち、自らも文化・芸術活動に参加をしている。

	推移 (R6の利用者数は見込み)						目標
	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R8
文化芸術に親しみやすい(満足度調査)	2.97p	-	2.99p	-	3.00p	-	3.27p
文化センター利用者数	134千人	69千人	72千人	99千人	111千人	110千人	170千人

**7年度の
ポイント**

- ① 優れた芸術文化を鑑賞する機会を提供します。
② 文化施設の整備を進めます。

① 総合文化センター等の運営**継続・新規** 【予算額 623,458千円】**●文化センター管理運営事業 (229,916千円)**

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、各種事業の実施及び施設の維持管理を行う
- ・市民に芸術鑑賞を提供する自主事業の開催
- ・伝統芸術文化の継承と保存、文化団体・鑑賞団体の育成と支援
- ・駒ヶ根市文化財団職員の人件費補助

●文化センター改修事業 (367,758千円)

- ・改修基本計画に基づいた屋根・外壁工事の工事 (R6繰越)
- ・改修基本計画に基づいた空調設備工事 (R6継続)

●図書館管理運営事業 (18,537千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、図書館運営を実施
- ・図書、諸資料の購入による蔵書資料の充実を図ることで、子育て応援にも繋げる。
- ・子ども読書活動推進計画によるブックスタート、セカンドブックに加え、小学校1年生対象のサードブックの配布を継続します。
- ・絵本巡回事業の実施、おはなし会及びお楽しみ会等各種催し物の開催
- ・協働電子図書館事業への参画

●博物館管理運営事業 (4,252千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、博物館運営を実施
- ・第24回「駒展」及び第10回ジュニア駒展の開催
- ・各種企画展示の開催
- ・資料の収集整理
- ・県宝指定「小町谷家住宅」の資料の整理・保存
- ・郷土館展示整理
- ・登戸研究所平和資料館展示ガイドの手当

●天竜かっぱ広場管理運営事業 (2,995千円)

- ・駒ヶ根市文化財団に指定管理を委託し、天竜かっぱ広場運営を実施
- ・ふれあい講座、ミニほっと講座等の開催
- ・館収蔵資料・作品による企画展示や特別展の開催
- ・竜東地域活性化への協力

② 文化芸術振興事業**継続**

【予算額 7,337千円】

●エル・システマ事業(音楽を通じて生きる力を育む事業)

- ・市内小学生を対象に、エル・システマのプログラムを活用した弦楽器教室等を開催
- ・市内小学校で弦楽器、和楽器、雅楽の「鑑賞教室」の実施

●駒ヶ根子ども音楽祭の開催

- ・子どもたちの文化芸術団体の発表の場として開催する。

●文化芸術振興

- ・文化芸術推進委員会開催

4 市民スポーツの推進

R7.2
社会教育課

めざす姿 ニュースポーツ、アスリートスポーツ問わず、すべての市民が求めるニーズに合わせ、それぞれの世代で楽しくスポーツに親しんでいる。

※H24, R4はスポーツ推進計画策定年度 ※H29は第1次計画の中間年度	推 移							目 標	
	H24	H29	R2	R3	R4	R5	R6	R9	R10
スポーツ少年団の小学生の加入割合	23.4%	22.2%	25.7%	26.7%	25.3%	25.5%	27.2%	30.0%	30.0%
週1回以上スポーツを実施する市民の割合	32.0%	31.0%	-	-	30.7%	-	-	65.0%	65.0%

7年度の
ポイント

- ① 生涯スポーツ活動の推進と、環境整備を進めます。
- ② スポーツを通じて地域コミュニティの形成を目指します。
- ③ 国民スポーツ大会に向け、施設整備や競技者増加に向けた取組みを進めます。

① 第12回信州駒ヶ根ハーフマラソンの開催

継続【予算額 9,099千円】

- 大会を支える市民の皆さんの笑顔あふれる「応援」や「おもてなし」でランナーの皆さんを、お迎えする大会を目指します。
- 「走る人」「応援する人」「スタッフ等支える人」が皆で「楽しむ」大会を目指します。



② かけっこ教室

継続【予算額 799千円】

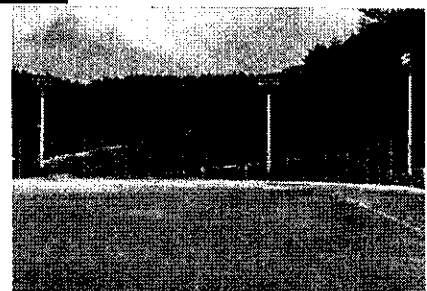
- スポーツの基礎となる「かけっこ」を通して、子どもの体力向上やスポーツに親しむ機会を創出します。
- 子どもを通じて、子育て世代への運動機会のきっかけづくりを目指します。



③ 体育施設整備運営事業

継続・新規【予算額 125,422千円】

- 個別施設計画を踏まえ、計画的な更新、改修、整備を図ります。
 - ・ 農村交流広場改修工事
(照明LED化 防球ネット増設)
- 指定管理による体育施設の維持管理を行い、施設・設備・器具など利用者が安全・安心に利用できる環境づくりに努めます。



④ 国民スポーツ大会運営・施設整備事業

継続・新規

【予算額 47,600千円】

- 国民スポーツ大会に向けた施設整備を行います。
 - ・ ホッケー場照明LED化
- 大会実行委員会の設立・運営
 - ・ 大会実行委員会の設立
 - ・ 日本ホッケー協会アンバサダーによるホッケー教室
 - ・ 全日本選手権ホッケー大会観戦

